

## 令和4年度 教育実践研究成果発表会について

長崎大学大学院教育学研究科

令和4年度 教育実践研究成果発表会を令和5年2月17日（金）、18日（土）にオンライン（Zoom）と対面によるハイブリッド形式で実施いたします。学外の方は、オンラインでの参加のみとさせていただきます。

両日ともに記録のためZoomによる録画をさせていただきます。

こちらではオンラインでの参加申込方法及び参加の際の注意事項等をお知らせいたします。発表プログラムについては別紙2をご覧ください。

期 日：令和5年2月17日（金） 8：50－14：40

18日（土） 9：00－16：10

<オンラインでの参加の際の注意事項について>

- ・接続開始時刻：8：30～
- ・別紙1の<成果発表会参加フォーム>の URL または二次元コードからお申し込みください。お申込み後、ほどなく返信メールにてZoomのURL・ミーティングID・パスワードが送付されます。返信メールが届かない場合、正しいメールアドレスが入力されていない恐れがあります。その場合は、もう一度参加フォームから正しいメールアドレスを入力してください。
- ・両日とも同じURL、ID、パスワードで入室が可能です。
- ・ミーティングに入室されましたら、所属とお名前の表記をお願いします。
- ・発表中は、音声をミュート（消音）にしてください。ミュートになっていない場合は、ホスト側でミュートにさせていただきます。
- ・別紙1に<質問用フォーム>及び<アンケート>の URL と二次元コードを記載しています。適宜、ご利用ください。
- ・発表後、質問される際はZoomのリアクションで手を挙げてください。こちらで、指名させていただきます。但し、所属とお名前が不明な場合は指名いたしませんのでご注意ください。指名されましたら、ミュートを解除してご発言ください。

以上

## 別紙 1

### <成果発表会参加フォーム>

参加される方は Google フォームにて事前申込を令和 5 年 2 月 13 日（月）までにお願ひします。回答された方にはほどなく Zoom の URL、ミーティング ID・パスコードが返信メールで送付されます。下記 URL または二次元コードからアクセスしていただき、お申込みください。

<https://forms.gle/iJHBpPuYXLyNR14G7>



### <質問用フォーム>

質問用フォームで送信いただいた質問を後日、発表者に伝え、メールにてお答えさせていただきます。下記 URL または二次元コードからアクセスしていただき、お送りください。

<https://forms.gle/ZWfu8p2re7LnJ8GC9>



### <アンケートへのご協力のお願い>

成果発表会終了後に、皆様からの本成果発表会のプログラム、開催方法などに関するご意見を、お寄せいただきますようお願いいたします。入力締切は 2 月 22 日（水）とさせていただきます。下記 URL または二次元コードからアクセスしていただき、ご協力よろしくお願い申し上げます。

<https://forms.gle/2WWLtnFKCeGp7sLJ9>



それでは、当日のご参加を心よりお待ちしております。ご不明の点等ございましたら、下記担当までお問い合わせください。

## 令和4年度 教育実践研究成果発表

令和5年2月17日(金)

I 開会行事(8:50~9:00)

II 教職実践研究発表①(9:00~10:20)

No.	氏名	コース	実践研究報告書題目
1	赤塚大虎	子ども理解・特別支援教育実践	小学校通常学級に在籍しているADHD児への休み時間の支援
2	立岡萌	子ども理解・特別支援教育実践	通常学級において支援が必要な子どもの人間関係づくりの支援・指導について ー授業と学級経営の二つの視点からー
3	石田大暉	子ども理解・特別支援教育実践	小学生の未来志向的な生きる力のベースとなる非認知能力の育成
4	川口真菜	子ども理解・特別支援教育実践	中高生を対象としたキャリア教育の実践研究 ー自己理解に焦点を当ててー

教職実践研究発表②(10:35~11:55)

No.	氏名	コース	実践研究報告書題目
5	脇田ゆりあ	子ども理解・特別支援教育実践	小学校1年生の新環境移行における適応を促す手立て ー環境的要因に着目してー
6	横山優子	子ども理解・特別支援教育実践	インクルーシブ教育の視点に立った児童と教師にとって居心地のよい場づくりのための実践と考察
7	和田直子	子ども理解・特別支援教育実践	外国にルーツのある子どもの発達支援と教育保障 ～日本語指導担当教員の役割とニーズを中心に～
8	岡田泰知	学級経営・授業実践開発	机間指導における学びを促す手立て

昼休憩 (11:55~13:00)

教職実践研究発表③(13:00~14:40)

No.	氏名	コース	実践研究報告書題目
9	山本大我	教科授業実践	高等学校生物における「関係性や傾向を見いだす力」を養う効果的な授業実践
10	高以良智也	教科授業実践	小学校音楽科における「思いや意図」を実現する学習プロセスの開発 ー「音楽づくり」に焦点をあててー
11	平石直樹	教科授業実践	高等学校生物におけるメタ認知を活性化する授業デザインとその効果
12	中尾祐圭子	教科授業実践	高等学校生物における概念構築を図るための授業デザイン
13	松村燎	教科授業実践	ICTを適切に活用した「主体的・対話的で深い学び」の実現に繋げる 理科授業の実践

令和5年2月18日(土)

Ⅲ 教職実践研究発表④(9:00～10:20)

No.	氏名	コース	実践研究報告書題目
1	菅千遥	学級経営・ 授業実践開発	中学校家庭科におけるキャリア教育の実践と可能性の検討
2	戸田凌太郎	教科授業実践	生徒の思考力や判断力を働かせる中学校社会科授業の実践研究 —事象の意味や意義、特色や相互の関連に着目して—
3	宮永彩香	教科授業実践	小学校音楽科におけるICTを活用した授業実践
4	大塚寛子	教科授業実践	小学校外国語活動における学級担任の不安を軽減するための工夫

教職実践研究発表⑤(10:35～11:55)

No.	氏名	コース	実践研究報告書題目
5	山本美佳	教科授業実践	美術科教育における創造性の育成について
6	百岳仁美	学級経営・ 授業実践開発	学ぶ楽しさを感じられる小学校外国語科の授業づくり
7	池ノ下祐子	教科授業実践	英語科における小中高の円滑な接続に効果的な言語活動のあり方に関する 実践研究
8	稲富美和子	教科授業実践	中学校外国語科(英語)における「社会的な問題」に関する英作文指導 —まとまりのある英語のパラグラフを書くための効果的な指導の手立てについて—

昼休憩 (11:55～13:00)

教職実践研究発表⑥(13:00～14:20)

No.	氏名	コース	実践研究報告書題目
9	野中美雪	子ども理解・ 特別支援教育実践	通常学校における特別支援教育の実践 —ポジティブ行動支援(PBS)の手法を参考にした指導と支援について—
10	金子実千代	管理職養成	学校組織のインクルージョン・マネジメントに関する考察
11	岸本博史	管理職養成	地域との連携・協働を豊かにし、地域の教育力を生かした持続可能な教育の実践 ～「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」を目指して～
12	月川浩之	管理職養成	若手教員育成を軸とした学校組織づくり ～正統的周辺参加論から考える～

教職実践研究発表⑦(14:35～15:55)

No.	氏名	コース	実践研究報告書題目
13	徳永貴憲	管理職養成	「活気のある学校」を作るための学校組織マネジメントに関する研究
14	徳永由美子	管理職養成	生きづらさを抱える子どもたちを支えるための学校組織マネジメントの在り方 ～管理職の取組に着目して～
15	吉田隆志	管理職養成	よりよい教育を行うための学校職場環境づくり ～職員の心理的安全性の構築に向けた管理職の取組に着目して～
16	吉村裕雄	管理職養成	「よりよい学校教育を通してよりよい社会を創る」ための学校・地域の協働に関する研究 ～社会の創り手を育成する地域学習を通して～

Ⅳ 閉会行事(15:55～16:10)